①わらべ館ファミリーコンサート

1 目 的

プロのアーティストを招き、子どもから大人まで幅広い年代が楽しめる童謡・唱歌のコンサート等を開催する。

2 事業概要

（1）開催回数　　年に2回開催　1回80分程度
（2）場　　所　　鳥取市民会館、わらべ館いべんとほーる等
（3）入 場 料　　有料

（4）公　　演

公 演 予 定	内　　容
ひろみち＆たにぞうふれあいライブ（仮）	佐藤ひろみちとたにぞうによる一緒に手遊びや、歌にあわせて体を動かすライブ。
絵本と音楽のコンサート（仮）	絵本作家長谷川義史とピアノ奏者大友剛による、絵本や、即興のペイントにあわせ、童謡などを演奏するコンサート。

3 事業費

年　度	24年度	参考23年度
事業費	5，648千円	5，968千円
計画回数	2回	2回

②わらべ館唱歌教室

1 目 的

昭和初期を再現した木造校舎で、当時の時代衣装をまとった講師が、来館者に対し、実際に足踏みオルガンを使用して唱歌指導を行う。

この事業は講師と来館者が一緒に唱歌を歌うことで、忘れられつつある唱歌の魅力を再確認して唱歌の啓発普及を図るとともに、希望に応じ臨時に唱歌教室を開催することにより団体客の増加を目指す。

2 事業概要

（1）開催時期

①定期開催　毎週土曜日　　５２日間を予定

②わらべ館が特に必要と認める場合の臨時開催　９０日間を予定

予定の開催日以外で事前に唱歌教室の開催を希望する団体。

（2）場　　所　　１階木造教室（座席数　２４）

（3）内　　容

４月～１１月　１日２回　　午後１時３０分～、午後３時～

１２月～３月　１日１回　　午後３時～

１回３０分程度

四季に応じた歌詞カードを配布し唱歌教師が季節や鳥取にちなんだ唱歌を解説し，オルガンに合わせて合唱する。

（4）わらべ館唱歌教師

原田彰、徳田徹志、中嶋玲子、尾﨑直美、西岡恵子、
田中直子、松田千絵

3 事業費

年　度	２４年度	参考２３年度
事業費	１０１９千円	８６３千円
計画回数 (うち臨時分)	１４２回 （９０回）	１１０回 （８０回）

③童謡・唱歌企画展

1 目 的

様々な童謡・唱歌に関する企画展と関連イベントを開催し、童謡・唱歌の情報を発信する。

2 事業概要

（1）収集した童謡・唱歌に関する資料の中で、調査研究が終わり、その成果が発表可能となったものを中心に企画展を開催する。

① 開催回数　　3回／年開催

② 場　　所　　1階　企画展示室、烏取の音楽家たちの部屋

③ 企画展の内容

期　間	タイトル	内　　容
6/21～9/17	師弟対決（仮）	山田耕筰・成田為三、本居長世・弘田龍太郎など、師弟関係にある作曲家や作詞家、又その歌について （＊7/1 童謡の日、講演会）
9/19～11/19	あそび歌（仮）	絵描き歌、手遊び歌などについて （＊11/11 ﾎﾘﾃﾞｰｲﾍﾞﾝﾄ“あそびうた”）
1/17～3/20	セノオ楽譜ｺﾚｸｼｮﾝ（仮）	竹久夢二などの装丁で有名な楽譜。 曲目：荒城の月、待ちぼうけ、浜辺の歌、ローレライの歌、ほか。

（2）年間の企画展の内容については、年度末に発行する童謡・唱歌研究情報誌『音夢』の中で紹介し、関係機関や希望者に配布する。

3 事業費

年　度	２４年度	参考２３年度
事業費	３２１千円	３７１千円
計画回数	３回	３回

④にじいろコンサート（旧エントランスホールコンサート）

1 目 的

鳥取県内で音楽活動をしている人に、エントランスホールと童謡コーナーをコンサート会場として提供し、入館者に音楽に親しんでもらうとともに、童謡・唱歌の啓発普及を図る。

2 事業概要

（1）開催回数　　8回／年開催
　　1回につき約1時間の公演を基本とする
（2）場　　所　　エントランスホール、童謡コーナー
（3）対 象 者　　演奏を希望する一般の方

3 事業費

年　度	２４年度	参考２３年度
事業費	１４２千円	１３０千円
計画日数	8回	5回

⑤童謡・唱歌資料収集

1 目 的

鳥取県出身の音楽家に関する資料や、広く童謡・唱歌に関する資料を収集することで、童謡・唱歌をテーマとした展示施設としての資料の充実を図る。

2 事業概要

（1）資料収集方針

わらべ館童謡・唱歌資料収集委員会で定められた収集方針に基づき、収集を行う。(別添資料:わらべ館童謡・唱歌に関する資料収集等の方針)

（2）資料収集の内容

①鳥取県ゆかりの音楽家に関するものについては、関係者との接触を継続的に行い、地道な収集を続けていく。

②童謡・唱歌に関する文献や資料を広く収集し、それを基に研究を進める。

③小・中学校の音楽の教科書や教材を収集し、必要に応じて展示する。

（3）資料の保管

収蔵庫の温度と湿度の管理に十分注意するとともに、資料の適切な保管に努める。

3 事業費

年　度	２４年度	参考２３年度
事業費	１，２４０千円	１，２６０千円

(別添資料)

わらべ館童謡・唱歌に関する資料収集等の方針

1　基本方針

ミュージアム機能を強化し、童謡・唱歌の拠点として全国に発信する施設を目指す。

2　具体的な方策

①調査・研究

童謡・唱歌に関する文献・資料を広く調査・収集し、それを基に研究を進める。

②資料収集

小学校・中学校の音楽の教科書、ならびに教材（CD、ワークブック）を収集するため、寄贈の呼びかけや教科書図書館等関連施設の所蔵資料の複写を行う。また、童謡・唱歌に関する古書を収集するため、適時古書業者の目録を確認し、購入に努める。さらに郷土の音楽家に関する情報、資料を収集するため、関係者への取材を行い、研究論文等も積極的に収集する。

〈24 年度重点的に収集するもの〉

・2013 年に田村虎蔵生誕 140 年を迎えるので、引き続き情報収集に努める。

③啓発・普及

童謡・唱歌に関する研究・情報誌を作成し、それを全国へ発信する。

④ライブラリー

一般の人や研究者がわらべ館の資料を活用できるようにする。

3　資料収集委員の構成

役　　職	氏　　名
鳥取短期大学幼児教育保育学科教授	白石由美子
鳥取大学地域学部附属芸術文化センター教授	西岡千秋
島根大学教育学部准教授	藤井浩基
鳥取市立湖南学園教頭	高木雅子
倉吉市立東中学校教諭	朝日翔三

4　委員会の開催予定

3回　5月、9月、平成２５年２月

⑥童謡・唱歌調査研究

1 目 的

鳥取県ゆかりの音楽家をはじめ、童謡・唱歌に関する調査研究を進め、その成果を発信することで、童謡・唱歌をテーマとする拠点施設としての充実を図る。

2 事業概要

（1）収蔵資料に関する調査研究を進める。

（2）研究成果をホームページや研究・情報誌『音夢（おとむ）』の刊行を通じて、全国に発信する。

（3）童謡・唱歌の研究者・機関との情報交換を行う。

（4）学校を中心に郷土の音楽家への理解を深めるための授業を行う。

（5）童謡・唱歌講演会

童謡・唱歌の研究者を講師に迎え、講演会を開催する。

①開催回数　１回／年開催（7/1(日)）

②場　　所　わらべ館いべんとほーる

③講　　師　眞理ヨシコ氏、河野春美氏（ピアノ）

④内　　容　童謡について

3 事業費

年　度	２４年度	参考２３年度
事業費	１，３８９千円	１，３１９千円

⑦なつかしのわらべ倶楽部

1 目 的

高齢者を対象に、懐かしい童謡・唱歌や遊びを楽しめるイベントを開催することにより、童謡・唱歌の持つ魅力を再確認してもらうとともに愛好者の拡大に努める。

2 事業概要

（1）回数・時期　４回／年開催（５月、７月、１０月、２月）
（2）場　　所　わらべ館いべんとほーる
（3）参加人数　１回／１８０名（６０歳以上）
（4）参 加 費　無　料
（5）講　　師　歌唱指導　尾前加寿子（声楽家、鳥取オペラ協会会員）
高橋智美　(わらべ館職員)
レクリエーション指導　鎌谷眞里子（レクリエーションコーディネーター、鳥取福祉専門学校専任講師）

3 事業費

年　度	２４年度	参考２３年度
事業費	３２８千円	３４４千円
計画回数	４回	４回

⑧ふれあいステージ

1 目 的

県内の芸術活動家と連携して様々なジャンルのイベント（音楽、演劇等）を通して、親子で楽しむとともに、子どもの豊かな情緒や感性を育てる。

2 事業概要

（1）開催回数　　６回／年開催
　　１回約６０分の公演が基本だが、イベント内容により終日開催の場合もある
（2）場　　所　　わらべ館いべんとほーる
（3）出 演 者　　県内の芸術活動家等
（4）公　　演

月	公 演 予 定	公 演 内 容
5 月 19. 20 日	劇団おひさまとあおぞら	親子向け創作演劇
9 月 15. 16 日	ロケットくれよん	子どもの歌を中心としたコンサート
9 月 22 日	ゆいま～る	親子で楽しむコンサート 知的障がいをもつ若者も多数出演予定
10 月 13. 14 日	白うさぎの会	ストーリーテリング、人形劇など
11 月	県内の音楽活動グループ（仮）	親子向けコンサート（仮）
2 月 9. 10. 11 日	鉄道の世界へようこそ	Ｎゲージの本格的な鉄道模型の展示

3 事業費

年　度	２４年度	参考２３年度
事業費	１，３３６千円	１，２６４千円
計画回数	６回	６回

⑨わらべ館童謡コンサート

1 目 的

現在、子どもはもちろんのこと大人も童謡・唱歌を聴く機会が減少しており、童謡・唱歌のすばらしさに触れることが必要である。

そこで、童謡・唱歌の裾野を拡げるため、県内の教育機関・社会福祉施設・社会教育施設及び県外の鳥取県人会・出先機関等で、わらべ館童謡・唱歌推進員による童謡コンサートを開催することにより童謡・唱歌の啓発普及を図る。

2 事業概要

（1）対　　象

県内の教育機関（保育園・幼稚園・小学校等）・社会福祉施設・社会教育施設（公民館等）及び県外の鳥取県人会・出先機関等。

（2）開催回数　　１５回／年（県内１２回、県外３回）

（3）わらべ館童謡・唱歌推進員

歌　手	ピアニスト
小椋 美香子	稲毛 麻紀
松田 千絵	名和 美絵
田中 直子	岩本 眞由子
西岡 恵子	三好 芳子
山尾 純子	野口 慶子

3 事業費

年　度	２４年度	参考２３年度
事業費	１，５５７千円	１，６９５千円
計画回数	１５回	１６回

⑩松本英彦顕彰展示

1　目　的

平成１２年２月に他界した世界的テナーサックス奏者松本英彦氏の業績と童謡・唱歌や鳥取県との関わりについて紹介する。

2　事業概要

（１）展示の内容

・松本英彦氏愛用の楽譜、ステージ衣装などを公開
・松本英彦氏のあゆみについて年表で紹介
・松本英彦氏の生前の演奏を常時再生

（２）維持管理

・適宜（年２回程度）松本英彦氏の遺族である松本佳子氏立会いのもと、展示品のメンテナンスを実施する。
・松本佳子氏から借用している遺品に係る保険料を予算計上する。

3　事業費

年　度	２４年度	参考２３年度
事業費	３７５千円	３７５千円

⑪わらべ館紙芝居劇場

１ 目 的

街頭紙芝居は、今ではほとんど見ることができなくなってしまったが、紙芝居の中にある「共感のよろこび」を通して、子どもの豊かな感性を育み、良き伝統を次世代に伝えるとともに、大人も子どもも一緒に紙芝居を見ることで世代間交流を図る。

２ 事業概要

衣装・自転車・舞台・拍子木・のぼり旗や参加者に配る糸引き飴まで、当時を再現した、懐かしい街頭紙芝居。

（１）開催時期　春まつり期間　4/28、4/30、5/3、5/4、5/6　５日
夏まつり期間　7/14～8/26 の土日やお盆　１７日
出張紙芝居など　８日
合計３０日

（２）場　　所　エントランスホール、公民館等

（３）実演回数　春・夏まつり１日４回（各回２０分間）実演

（４）実 演 者　鳥取紙芝居ネットワーク
（若松博康、谷口英基、平家六榮、田中美幸）

３ 事業費

年　度	２４年度	参考２３年度
事業費	３２１千円	３２３千円
計画日数	３０日	３０日

⑫おもちゃワールド

１ 目 的

常設展示では味わえない様々なおもちゃをいべんとほーるに導入し、親、祖父母、子どもが相互にコミュニケーションを図る遊び場として展開する。子どもの創造性、協調性、社会性を育むことを目的とする。

２ 事業概要

（１）設置内容

鉄道・車のおもちゃ、ままごとセット、知育玩具、ファミリーゲーム、ベビーおもちゃ等。

（２）開催期間

・春まつり編	４月１４日（土）～５月　６日（日）	計２２日
・夏まつり編	７月１９日（木）～８月２９日（水）	計４２日
・冬編	１２月２２日（土）～１月２０日（日）	計２５日
		合計８９日

（３）場　　所　　わらべ館いべんとほーる

３ 事業費

年　度	２４年度	参考２３年度
事業費	４，７２１千円	４，６９１千円
計画日数	８９日	７９日

⑬おもちゃと遊びの企画展

1 目 的

収集したおもちゃの中で、調査研究が終わりその成果が発表可能となったものを中心に企画展を開催するとともに、外部からおもちゃや遊びに関する資料を借りて特別展を開催し、おもちゃに関する情報を発信する。

2 事業概要

（1）開催回数　〔企画展〕ギャラリー童夢：５回
６月、９月、１１月、１月、２月に展示替えを実施。
〔小企画展〕エントランスホール：１回
〔特別展〕いべんとほーる：１回

（2）場　　所　企画展：３階ギャラリー童夢
特別展：いべんとほーる（もしくはエントランスホール）

（3）年間の企画展の内容については、年度末に記録集『ギャラリー童夢企画展報告書　万遊鏡』を作成し、関係機関や希望者に配布する。

（4）企画展・特別展の内容

期　間	タイトル	内　　容
3/22～6/19	「おもちゃ○△□」	数あるおもちゃの中からシンプルな造形を紹介
6/21～9/18	「水とおもちゃ」	水鉄砲やボートなど水に親しむおもちゃ展
9/20～11/20	「中国の遊びとおもちゃ」	国交正常化 40 周年記念。中国の遊びとおもちゃ展
11/22～1/15	「干支の郷土玩具展　巳」	全国の巳の郷土玩具と巳にまつわる話題を紹介
1/17～3/21	「香月泰男のおもちゃ箱」	画家香月泰男（生誕 101 年）の創作玩具
5/26～6/10	「23 年度新収蔵資料展」	23年度に収集した玩具資料を抽出して展示
11/10～12/2	「押忍！手芸部作品展」	おもちゃ講演会

3 事業費

年　度	２４年度	参考２３年度
事業費	５３０千円	７２０千円
計画回数	７回	７回

⑭おもちゃ資料収集

１ 目 的

内外のあらゆるおもちゃ資料の収集に努め、おもちゃの拠点施設としての展示内容を充実させる。

わらべ館の収集品で日本のおもちゃの歴史的変遷が説明可能となるよう、特に古い日本のおもちゃの収集に力をいれる。

２ 事業概要

（１）資料収集方針

わらべ館おもちゃ資料収集委員会で定められた収集方針に基づき、収集を行う。（別添資料：わらべ館おもちゃ資料収集方針）

（２）資料収集の内容

日本のおもちゃ、海外のおもちゃ、干支の郷土玩具、鳥取に関係するおもちゃを収集する。また、おもちゃや子どもの遊びに関連する県内の人的資源についても情報の収集を行う。

（３）参加体験おもちゃの収集

２階おもちゃの部屋・トイポケットの消耗玩具の入れ替えを定期的に行い、リピーターの要望に応える。

（４）資料の保管

収蔵庫の温度と湿度の管理に十分注意するとともに、資料の適切な整理保管に努める。

３ 事業費

年　度	２４年度	参考２３年度
事業費	２，３５６千円	２，４４１千円

(別添資料)

わらべ館おもちゃ資料収集方針

1　資料収集方針

（1）おもちゃ資料の収集

① 日本のおもちゃ（江戸期～現代）

② 鳥取のおもちゃ（郷土玩具、現代作家）

③ 世界（特に「環日本海」ロシア・モンゴル・中国・朝鮮半島）のおもちゃ

④ 干支の郷土玩具

（2）おもちゃや子どもの遊びに関連する県内の人的資源・素材の情報収集

① 県内のおもちゃ・人形作家、その他関連する作家・技能者・組織についての情報収集と連携

② 県内産のおもちゃ素材に関する情報の収集

2　資料収集委員の構成

役　　職	氏　　名
鳥取大学副学長	高阪一治
郷土玩具研究家	冨田公夫
玩具研究家	長谷川重隆
鳥取県教育委員会事務局文化財課文化財主事	原島知子
湯梨浜町教育委員会職員	宮川　紳

3　委員会の開催予定

1回　　7月

⑮おもちゃ調査研究

1 目 的

新規収集品・収蔵品・展示品に関する情報の体系的整理を行い、調査研究を進めていく。

研究の成果をホームページに掲載するなどの様々な方法により、継続的に情報を発信することで、おもちゃをテーマとする拠点施設としての充実を図り、その役割を周知する。また、教育機関や一般の研究者、施設等との連携も深め、更なる調査研究に役立てる。

2 事業概要

（1）収蔵品の研究成果を提供するため、収蔵資料に関する調査研究の整理を進める。

（2）研究成果をホームページや研究・情報誌を通じて、全国に発信する。

（3） わらべ館の収蔵資料の一覧を公表し、可能なものは来館者にライブラリー等で閲覧に供する。

（4）おもちゃの研究者との情報交換を行う。

（5）おもちゃ講演会

おもちゃの研究者を講師に迎え、講演会（ワークショップ）を開催する。

①開催回数　１回／年開催
②場　所　　わらべ館いべんとほーる
③講　師　　押忍！手芸部（手作りおもちゃ集団）
④内　容　　手作りおもちゃの可能性、創造性の発見。

（6）ドイツのヘッセン人形博物館とは、人形や情報の交換を通じて、姉妹館交流を継続実施する。

（7）地域のおもちゃに関する人的資源の情報提供や交流の場とするため、エントランスホールを一般のおもちゃコレクターやものづくりの趣味を持つ方に、展示会場として提供する。

3 事業費

年　度	２４年度	参考２３年度
事業費	７９９千円	９６６千円

⑯おもちゃづくり体験

1　目　的

おもちゃ作りを通して、工作に関する工夫や、道具の使い方、おもちゃの動く仕組みやあそび方について学ぶ場を子どもに提供し、子どもの創造性や芸術性を育む。

2　事業概要

（1）館内の展示スペースの一つであるおもちゃ工房で、幼稚園・保育園・小学校等の休みの期間に対応しておもちゃ作りを体験させる。

①開催時期　　下記の日程で開催する。

〔通常編〕オリジナルキットを使っての工作

・毎週土曜日・日曜日（※ただし第１土曜は除く）	68 日
・春　編　４／１～８・翌年の３／２０～３１	20 日
・GW 編　４／２８～５／６	9 日
・夏　編　７／２１～８／２６	37 日
・冬　編　１２／２２～１／６	12 日
合計	146 日

〔臨時編〕開催日以外の日で希望に応じ、キットを限定して開催する。

②場　　所　　２階おもちゃ工房

（3）アルバイトを雇用して工作指導にあたらせる。

（4）２年に１度、工作キット（２種類）の開発を行い、定期的にキットの入替を行う。

3　事業費

年　度	２４年度	参考２３年度
事業費	１，６０４千円	１，５６０千円
計画日数	１４６日	１２０日

⑰わらべ館おもちゃ教室

1 目 的

県内の教育機関や社会福祉施設、社会教育施設などに出向き工作の指導を行い、手作りのおもちゃを作る楽しさを体験してもらい、おもちゃの啓発普及を図る。

2 事業概要

（1）開催回数　　１０回／年開催

（2）場　　所　　県内の保育園・幼稚園・小学校等の教育機関、社会福祉施設、公民館等の社会教育施設

（3）講　　師　　おもちゃ作家、わらべ館職員

（4）そ の 他　　材料代参加者負担

3 事業費

年　度	２４年度	参考２３年度
事業費	３１６千円	３５２千円
計画回数	１０回	１０回

⑱わらべ館おもちゃの病院

１ 目 的

おもちゃの修理を通して、子どもに“物を大切にする心”を伝え、おもちゃへの興味・関心を深めることを目的とする。

２ 事業概要

ボランティアスタッフがお客様と一緒に壊れたおもちゃを工夫しながら修理する。また、研修会を開催し、スタッフの技術向上を図る。

（１）開 催 日　　１３回／年

・館内定期開催（毎月第４日曜日）１２回
・館外出張（他施設等から実施依頼のある日）１回

（２）場　　所　　わらべ館エントランスホール、いべんとほーる、館外施設等。

（３）スタッフ　　わらべ館おもちゃの病院ボランティア
（おもちゃドクター２１名・看護師２名　計２３名）

（４）研 修 会　　１回／年

３ 事業費

年　度	２４年度	２３年度
事業費	５０６千円	５６５千円

⑲わらべ館おもちゃの銀行

1 目 的

おもちゃのリサイクルを通して、子どもに“物を大切にする心”を伝えることを目的とする。

2 事業概要

年間を通して家庭等で不要になったおもちゃの寄付を募り、おもちゃの病院ボランティアと協力しながらクリーニングや修理を行う。

リサイクルしたおもちゃは、プレゼントイベントを企画し、希望の子どもに贈る。

また、壊れたおもちゃも引き取り、活用できる部品をおもちゃの修理に役立てる。

プレゼントイベント

（1）開 催 日　2回／年

・１０月２０日（土）ミニおもちゃプレゼント（対象：未就学児）
・１２月２日（日）クリスマスおもちゃプレゼント（対象：小学生以下）

（2）場　　所　　わらべ館いべんとほーる

（3）スタッフ　　わらべ館おもちゃの病院ボランティア

3 事業費

年　度	２４年度	参考２３年度
事業費	１８４千円	１６６千円

⑳わらべ館ホリデーイベント

1 目 的

子どもや大人が休みとなるゴールデンウイーク、祝日及び夏休みの期間などに、多くのイベントを行うことにより、集客を増やす。

2 事業概要

（1）開催時期　　通年

（2）場　　所　　わらべ館展示室、いべんとほーる、エントランスホール

（3）事業内容

①jaaja（ジャージャ）コンサート
名古屋在住の楽団 jaaja による、コンサートと、お面づくりワークショップ。
②紙芝居口演
大阪のプロ紙芝居師だんまるによる、街頭紙芝居。
③和音コンサート
関東在住の箏演奏グループによるコンサート。
④ジャズコンサート
鳥取出身、ニューヨーク在住のジャズボーカリストおかある星野ラブレースのコンサート。
⑤歌子さんのコンサート
関東在住の歌手あらたに葉子の、童謡コンサート
⑥Ａ１あそびうたまつり in 鳥取
関東、鳥取在住の作家が、体を使った歌やあそびを披露する。
⑦工作ショー
おもちゃ作家による紙工作の実演をするショー。
⑧ピエロショー
ピエロによる音楽演奏やバルーンショー。
⑨ショピンライブ・・・関東在住ミュージシャンによる、おもちゃ楽器をとりいれた歌のコンサート。
⑩パネルシアターおはなし会
パネルシアターを使った歌やおはなしのパフォーマンス。

3 事業費

年　度	２４年度	参考２３年度
事業費	3，９６７千円	3，６５３千円

㉑えいがの時間

1　目　的

子どもや親子向けの映像作品の中から、テレビ放映や市販およびレンタルソフトとして比較的流通していない作品、あるいは、過去の優れた作品の上映を、みんなで楽しめる映画館の雰囲気の中で鑑賞する機会を設ける。なお、夜間にも開催することで、外で働いている保護者が参加しやすい環境をつくる。

2　事業概要

いべんとほーるで館所有のＡＶ機器（スクリーン、プロジェクター等）を用い、100名～200名が入場可能な上映会を開催する。

①開催時期　　下記の日程で開催する。
４月、６月、７月、９月、１１月、１２月、H25年２月、３月

合計８回

②場　　所　　わらべ館　いべんとほーる

③内　　容　　子ども向け、親子向けの映画の上映。
上映については、簡易なプログラムを配布する。

3　事業費

年　度	２４年度	参考２３年度
事業費	４２０千円	５７０千円
計画日数	８日	８日

㉒七夕とわらべ館誕生祭

１ 目 的

わらべ館の誕生日と七夕が同日であることから、この二つを組合せ、入館者の方に楽しんでいただくとともにわらべ館のＰＲを図る。

２ 事業概要

（１）内　容

・誕生祭

開館周年記念セレモニーを行い、併せて七夕飾り、歌等で誕生祭を祝い、夢兎、ロビットと遊んだり、写真撮影会を開催する。

・七夕飾り

館内外には一般的な七夕飾りを行う。

・イベント　　例年通りプレイベントを実施する。

（２）開催日

誕生祭

７月７日に開催

（３）場　所　　エントランスホール

３ 事業費

年　度	２４年度	参考２３年度
事業費	１５９千円	１５９千円

㉓わいわい交流イベント(旧お楽しみふれあいイベント)

1 目 的

広くなったおもちゃ工房の利用を含め、職員を中心とした機動性のある参加型イベントを開催し、入館者の増加を図る。

2 事業概要

（1）開催時期　　通年

（2）開催場所　　おもちゃ工房、エントランスホール、いべんとほーる、滝の広場等

（3）参 加 費　　イベントによっては材料代程度の参加費が必要

（4）事業内容

①ものづくりイベント（第一土曜日、祝日）
・８～１０回予定（おもちゃ工房）
②プッチイベント（月２～３回予定）
・成長の記録を残そう
・パネルシアター
・ミニコンサート
・ボードゲーム等
③子ども用品リユースバザー
・２回（６月２３日、１２月８日）
④あおぞらフリーマーケット
・４回（４月下旬２回、１０月下旬２回）
⑤クリスマス・お正月イベント
・３回（１２月下旬、１月２日・３日）

3 事業費

年　度	２４年度	参考２３年度
事業費	５５３千円	２９３千円

㉔入館促進・広報事業

1 目 的

各種の媒体にわらべ館の紹介やイベントの情報等を広く案内するとともに、県内及び近県の観光地の旅館、ホテル等並びに旅行会社、バス会社等を訪問し、個人客及び団体客の誘致に努める。

2 事業概要

（1）「イベントカレンダー」「わらべ館だより」を年６回発行し、入館者・友の会会員・関係機関に配布し、わらべ館に関する情報提供を行う。
（2）各種イベント、講演会等について、県政及び市政記者室等へ情報提供を行う。
（3）各種イベント、講演会等のポスター・チラシを関係機関に配布する。
（4）ホームページを通じて、わらべ館の情報提供を行う。
（5）友の会加入促進により、会員の増加を図る。
（6）リピーターの獲得のため、ポイントカードを発行する。
（7）団体客の増加を図るため、県内・県外（関西、中国、四国等）の旅行代理店及びバス会社等を訪問し、ＰＲする。
（8）県内及び県外近隣の旅館、ホテル等を訪問し、ＰＲを行う。
（9）車両誘導用の電柱看板を継続する。
（10）新聞、旅行雑誌にわらべ館の紹介やイベント情報等を掲載する。

3 事業費

年　度	２４年度	参考２３年度
事業費	５，７８５千円	６，４１８千円

㉕ボランティア活動推進

1 目 的

県民参加型の施設の運営や活動の推進を図るためにボランティアを募集育成する。

2 事業概要

（1）募集、育成等

① ボランティアの活動を継続させるため、ボランティア希望者を募集する。
② ボランティアの学習の機会として、研修会を開催する。
③ ボランティアと職員との意見交換会を開催する。

（2）活動内容

① 紙芝居実演
　ライブラリーで紙芝居を実演する。
② 唱歌教室支援
　１階木造教室で開催される唱歌教室の運営を支援する。
③ 読み聞かせ・わらべうたあそび実演
　ライブラリーでの絵本の読み聞かせとわらべうたあそびを実演する。
④ イベント支援
　コンサートの受付など、各種イベントの運営を支援する。
⑤ 昔あそび実演
　ライブラリーで懐かしい子どものあそびを参加者と一緒に実演する。
⑥ 館内あそびの体験支援
　リニューアルになった館内で体験コーナーのあそびの指導・支援する。

3 事業費

年　度	２４年度	参考２３年度
事業費	２０５千円	２３４千円

㊕㉖連携事業

1 目 的

童謡・唱歌とおもちゃをテーマとする拠点施設としての充実を図るため、教育機関や一般の研究者、施設等と連携し、事業を行う。

2 事業概要

（1）鳥取大学地域学部附属芸術文化センターと連携し、「七夕コンサート」を行う。

①開催回数　１回／年開催（7/7(土)）
②場　　所　わらべ館いべんとほーる
③出 演 者　Trio Tanabata
④内　　容　オーボエ・ファゴット・ピアノによるドイツや日本の歌の演奏

（2）島根大学教育学部藤井研究室と連携し、「夏休み自由研究講座」を行う。

①開催回数　４回／年開催（7/31(火)・8/2(木)・8/4(土)・8/5 (日)）
②場　　所　ライブラリー
③スタッフ　島根大学院生、わらべ館職員
④内　　容　小・中学生による童謡・唱歌の研究をサポートする。

（3）鳥取大学大学教育支援機構 教職教育部門　大谷研究室と連携し、ボードゲームやネイチャーゲーム大会を開催する。

①開催回数　１回／年開催（2/23(土)予定）
②場　　所　いべんとほーる（または屋外）
③スタッフ　鳥取大学職員、わらべ館職員
④内　　容　いろいろなゲームを通した協調性と自主性の涵養。

3 事業費

年　度	２４年度	参考２３年度
事業費	２９０千円	—

㊕㉗マンガ家アシスタント道場

1 目 的

平安時代の絵巻物にもすでに出ている日本のマンガ文化の表現要素を学び、「国際マンガサミット鳥取大会」、「まんが王国とっとり」への関心を高める。

2 事業概要

ストーリーやキャラクターを引き立たせるためのマンガのルールを実作を交えて学習する

（1） 開催日　　7月14日（土）

（2） 場　所　　わらべ館いべんとほーる

（3） 対象者　　小学校4年生以上（　定員　80名　）

（4） 講　師　　京都国際マンガミュージアム講師3名

3 事業費

年　度	24年度	参考23年度
事業費	621千円	－